

「1月号を読んで」

■現代社会におけるキーワードは「つなぐ」だと思えます。海外の現場で、今までスムーズとは言えなかったJICAとNGOが連携できるようになった状況を今号で知り、とても嬉しくなりました。様々なプロジェクト現場でのキーワードは「人」。まさに人と人のつながりが現場の人々のニーズに柔軟に対応できる条件です。「JICA's World」で取りあげたことによりこのコラボがさらに進化していくのではないのでしょうか。

(神奈川県・57歳・男性・公務員・武部公也)

「2月号を読んで」

■3人の娘の母親として特集の記事は、人ごとではありませんでした。つらい思いをしている子供達の多さに胸が痛みます。自分本位に物事を考えがちな社会になってしまいました。常に他者への思いやりを忘れず暮らしていければと思います。皆さんの活躍を子供達にもしっかりと伝えたいと思います。頑張ってください。

(青森県・42歳・女性・主婦・工藤由美子)

■2月号表紙写真がすごい訴える力がある。この写真を見ると、目頭があつくなる。このような笑顔(？)、表情(！)につき動かされて、私はインド大陸に5年協力の仕事をした。でも自分の無力を痛感した。この表情を見て、見ぬふりをした。

(宮城県・77歳・男性・無職「元青森県職員」・那須昶正)

「3月号を読んで」

■アフリカで稲作が営まれ、食料不足の解消に一役買っている事を知り、感動しています。今まで減反政策が推進されていた昭和40年代前半ごろは、日本で余っている米を送れば良いのと思っていました。根本的な解決にはならないですね。技術が進歩すれば、大地がよみがえるし、産業として成り立つので素晴らしいと思います。

(宮城県・59歳・男性・地方公務員・原田正二)

本誌へのご意見・ご感想や JICAへのご質問を お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2010年6月15日

Email: jica@idj.co.jp

FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① 毛糸の髪飾り
- ② 書籍『大量破壊兵器、カラシニコフを世界からなくす方法』(p30参照)
- ③ 書籍『もっと知ろう!! 私たちの隣人』(p30参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は
送料ご負担にて
お送りいたします。

申込方法

巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払ください。入金の確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル
TEL 03-3584-2191
FAX 03-3582-5745
Email order@idj.co.jp



次号予告 (2010年6月1日発行予定)

ミレニアム開発目標

絶対的貧困の半減などを盛り込んだ「ミレニアム開発目標(MDGs)」の達成期限(2015年)まであと5年。MDGsの進捗状況、JICAの取り組み、今後の課題を解説します。

JICA's World

MAY 2010 No.20

編集・発行/独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency: JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル1~6階
TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396 URL: <http://www.jica.go.jp/>

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。